

校長フログ No.2	つながり	2024年4月19日 発行者 大阪市立田辺中学校 校長 井寄 芳春
-----------------------------	-------------	--

あいさつのチカラ

おはようございます。新学期がスタートして、1週間が過ぎました。この一週間のみなさんの学校での様子を見ていると、とてもよいスタートを切ったことがうかがえます。

さて、今日は「あいさつのチカラ」というお話をします。私が、初めてこの田辺中学校を訪れた時、正門の前の道は「あいさつ筋」と名付けられていること、また、校舎内にも「めざせ あいさつ名人」と書かれた掲示物があることに気づきました。先週は、登校時に、生徒会役員が正門前に整列し、大きな声で「あいさつ運動」に取り組んでいることにも感心しました。あいさつをととても大事にしている田辺中学校の伝統や校風を感じました。

「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」「お願いします」「いただきます」「ごちそうさまでした」…など、学校には「あいさつ」がいっぱいです。みなさんのあいさつに接していると、とてもうれしくなり、気持ちも若返ってきます。あいさつをすることは、世界中の人たちが大切にしている習慣です。

「挨拶」という漢字の意味を調べてみました。「挨拶」「挨」の漢字には「ひらく」という意味があり、「拶」の漢字には、「相手に近づく」という意味があるとのこと。「挨拶」には、「心を開いて歩み寄る」というような意味があると言えるでしょう。

挨拶は、単に人と人との言葉をやりとりすることだけでなく、人と人が歩み寄り、心と心、気持ちと気持ちをつなぐ力があります。元気な挨拶には元気が伝わり、温かな挨拶には温かさが伝わります。また、親しみを込めた挨拶には、親しみが伝わるのではないのでしょうか。相手への感謝の気持ちや敬う心も、あいさつの言葉に乗せて相手に伝えることができるでしょう。

始業式では、「みんなの学校をみんなで創ろう」というお話をしました。あいさつは、「みんなの学校」を創るためのチカラの源にもなるような気がします。



※全校集会での講話の内容に加筆・修正しています。